

羽衣国際大学 授業公開講座のご案内 2026年度 前期

「授業公開講座」は、羽衣国際大学の在學生と共に講義を受けるものです。
社会人の方のみを対象とした講義ではありませんので、ご注意ください。

1 聴講料と申込方法等

▣ 聴講料

1科目につき8,000円

▣ 聴講資格・定員

社会人の方であれば、どなたでも受講できます。**ただし個人のメールアドレスを有し、メールの送受信を日本語でできる方に限ります。**各開設科目とも特に定員はありませんが、原則として正規学生の授業に支障のない範囲での聴講ですので、**聴講をお断りする場合があります。**

▣ 申込方法

2026(令和8)年3月16日(月)から3月25日(水)に本学HP上よりお申込みください。

HP: <https://www.hagoromo.ac.jp/course/show>

※【社会人・一般の方へ】→【授業公開講座】を選択し申込ください。

※期日を過ぎてのお申し込みは対応しておりません。

▣ 申込後の流れ

・「聴講決定」のメールお知らせ

・「聴講許可書」の交付と聴講料の納入

1回目の授業開始後に証明書自動発行機(4号館1階)で、聴講料を納入してください。

納入後、教務支援課にお越しください。

・「教科書・参考書」の購入

聴講料納入後にご説明いたします。

▣ 修了証書の授与

単位の認定は行ないませんが、講座終了後、授業回数の3分の2以上を聴講された方に「修了証書」を授与いたします。

▣ 注意事項

一旦納入された聴講料はいかなる理由があっても返金いたしません。

聴講生は聴講期間中、図書館(別途入館カード作成費用必要)、レストラン、カフェテリアの利用をすることができます。

本学は駐車場がございませんので、聴講期間中の車での来学はできません。

講座参加中の事故等に備え、各自の責任で傷害保険等にご加入ください。

お申込・お問い合わせ

羽衣国際大学 教務支援課 授業公開講座係

〒592-8344 堺市西区浜寺南町 1-89-1

TEL (072)265-7102 FAX (072)265-7005

E-mail: kyoumu@hagoromo.ac.jp

2 講座の概要と時間割

□ 開講期間と時間帯

開講期間：【2026年4月8日(水)～7月28日(火)】

授業時間

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
9:00～ 10:30	10:40～ 12:10	13:00～ 14:30	14:40～ 16:10	16:20～ 17:50

開設科目一覧

1. 法律学 I	
杉原充志	この授業では、日本人の「法意識」をキーワードに、現代社会における法の役割について、他の社会科学とも関連させながら、やさしく解説します。ここでは「法意識」とは、法に関する人々の知識、考え方や感じ方、また、それに対する態度や期待を包括的に表現する用語とします。法律の世界を通して生身の人間の生きざま(弱さ)を知り、そのうえで法的なものの見方(リーガルマインド)を身につけてもらえるように工夫します。「人間学」としての法学と「スキル」としての法学の両立を目指したいと思います。
月曜1限	
2. 社会学 I	
棚山 研	社会学の主題はいつの時代も、人間の主体的行為と社会構造の変動をいかに総体的に捉えるか、にあった。本講義では、代表的な古典的社会学者(社会理論家)の3人のエッセンスを取り上げ、社会学の基本枠組みを理解する(説明できるようにする)。
金曜3限	
3. 共生社会論	
にしやんた	羽衣国際大学では、これからの「共生社会」において主体的に行動する実戦職業人の育成を教育ミッションとなっている。「違いしか存在しない社会に生きている者」として「共生」を意識し、丁寧に生きることが求められている。共生社会を正しく生きることは平和、持続可能性及び発展をもたらす、その逆では悪しき現象を引き起こさせる。「共生社会」を学ぶことは、基礎教養であり、生きる力となる。
火曜2限	
4. 児童福祉論	
新井 寛規	児童福祉とは何か。という本質的問題点を探りながら、現在の子ども達が置かれている状況や対策について深く探っていく。子どもに対する人格、尊厳及び主体性について理解することが出来ることを目指す。
水曜2限	
5. 子どもと社会	
渋谷光美	子どもをとりまく状況について、今日の日本でも子どもの貧困が問題となっている実情をふまえた上で、児童労働や貧困に苦しむ世界の実情を捉える。子どもと社会との問題と解決に向けた国際的な取り組みや、国際機関についての理解を深め、その活動について把握する。
木曜2限	

6. 地域研究 B

片岡恵美	中国の文化は、日本をはじめとする東アジア諸国の文化に大きな影響を与えてきた。この授業では、中国の文化の基礎となっている儒教などの基本的な事項について理解を深めると共に、中国の文化が日本や西洋の文化に与えた影響についても考察する。さらに世界遺産を取り上げ、そこに現れた文化や歴史など人々の営みに関する事柄も合わせて講義する。
金曜 5 限	

7. イベントプロデュース論

寒川和成	各種イベントを実際の社会と生活に関連させながら、基礎的な構造とプロデュースの基礎となる企画書の制作について講義する。
月曜 4 限	社会にあふれているイベントは、どのような目的で出来上がっていくのかを説明できるようにする。

8. ビジネス法規

松村幸四郎	現代のビジネス社会では、大小多くのプレーヤーがひしめきながらも活発な取引活動を展開しています。このプレーヤーの殆どを占める企業の活動が現代経済社会を支えています。本授業では、そうした企業の経済活動に当に焦点を当てて、法規制のあり方や企業の活動の実態に関する理解を深めていきます。ビジネス活動が法律等によってどのように保護され、また規制されているのかを知ることで、受講者の皆さんが自分なりに社会における問題を分析できるようになることを目指します。
水曜 4 限	